

平安時代後期に建立された歴史ある神社

榎葉八幡神社

NARAHACHIMANJINJA



素敵な御朱印もあります



榎葉八幡神社は、康平年間(1058年)1065年に、鎌倉の鶴岡八幡宮から5里ごとに八幡宮を設けた五里八幡の一つで、戦勝祈願として源頼義が建立したと伝えられています。当時、榎葉郡(現在は榎葉郡が標葉郡と合併し双葉郡)に位置していたことから、榎葉八幡神社と呼ばれるようになりました。「神社は氏神として、同じ地域の人々が信仰する神道の神様としての役目を持っています。私はそこで神職として、人生の節目ごとにお参りに来て下さる方々とのつなぎ役を担っています。」と宮司さんは話します。

広野町で育ち現在は町外に住むご夫婦が、実家の父母に孫の晴れ姿を見せようと、七三のご祈禱をこの神社にお願いすることもあります。敵かでありながら、懐かしい、ほっとするような神社が、古くからの伝統行事で親子を代々つなぎます。

榎葉八幡神社 住所：福島県双葉郡広野町大字上北迫字石名坂 57 電話：0240-27-2097

五穀豊穡・厄除けを願う矢を放つ

百矢祭

HYAKUYASAI

広野町の折木にある亀山神社で行われる伝統行事、百矢祭。

明治初期に始まったとされており、かつては旧暦の1月12日に行われていましたが、現在では新暦の同日に近い日曜日に行われています。

作況を占う大小の的や厄除け祈願の鬼の的、八咫鳥(やたがらす)を描いた的などを狙い矢を放ちます。

五穀豊穡や厄除けを願う祭りです。



鹿嶋神社浜下り祭

たんたんぺろぺろ

「たんたんぺろぺろ」とは広野町で130年以上の伝統があるとされている浜下り神事の愛称です。太鼓をたたく音「たんたん」と、笛を吹く音「ぺろぺろ」から、こう呼ばれるようになったと伝えられています。

下浅見川地区の鹿嶋神社と上浅見川の大滝神社は、それぞれ男神と女神の関係にあり、その神様が年に一度出会い「潮垢離(しおごり)」をする神事ですが、現在は下浅見川の鹿嶋神社のみで行っています。



その年の無病息災を願う

鳥小屋

TORIGOYA

鳥小屋は青鳥から田畑を守る「鳥追い」と正月飾りを燃やす「どんと焼き」が一つになった正月行事です。

竹やモミの木等を使って、箱型・円錐形・長方形の合掌造りなどの小屋を作り、1月7日に各家庭から運ばれた正月飾りや御札などを、8日早朝にお焚き上げを行います。一年の無病息災を願う、伝統行事の一つです。

